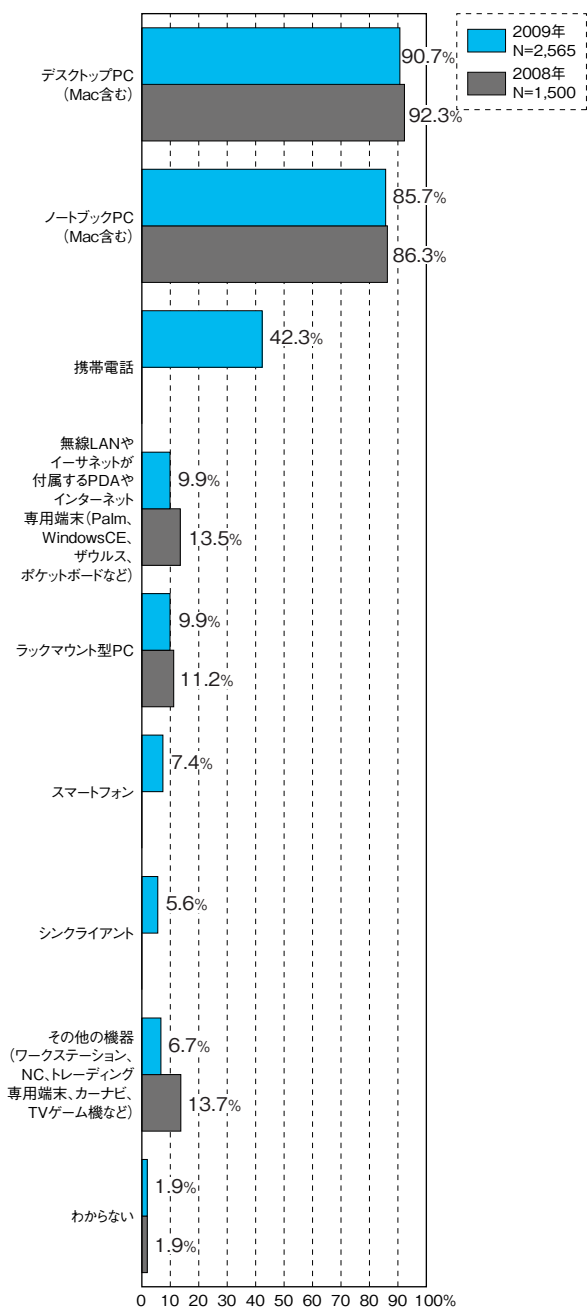


インターネット利用機器はパソコンがメイン

インターネット利用可能な機器は、「デスクトップPC」と「ノートブックPC」が9割前後で突出して高く、昨年とほぼ同じである。従業員規模別にみた場合、規模の小さい企業ほど「デスクトップPC」の比率が高く、規模の大きい企業ほど「ノートブックPC」の比率が高くなる傾向がある。また、「携帯電話」は42.3%、「スマートフォン」は7.4%となっている。

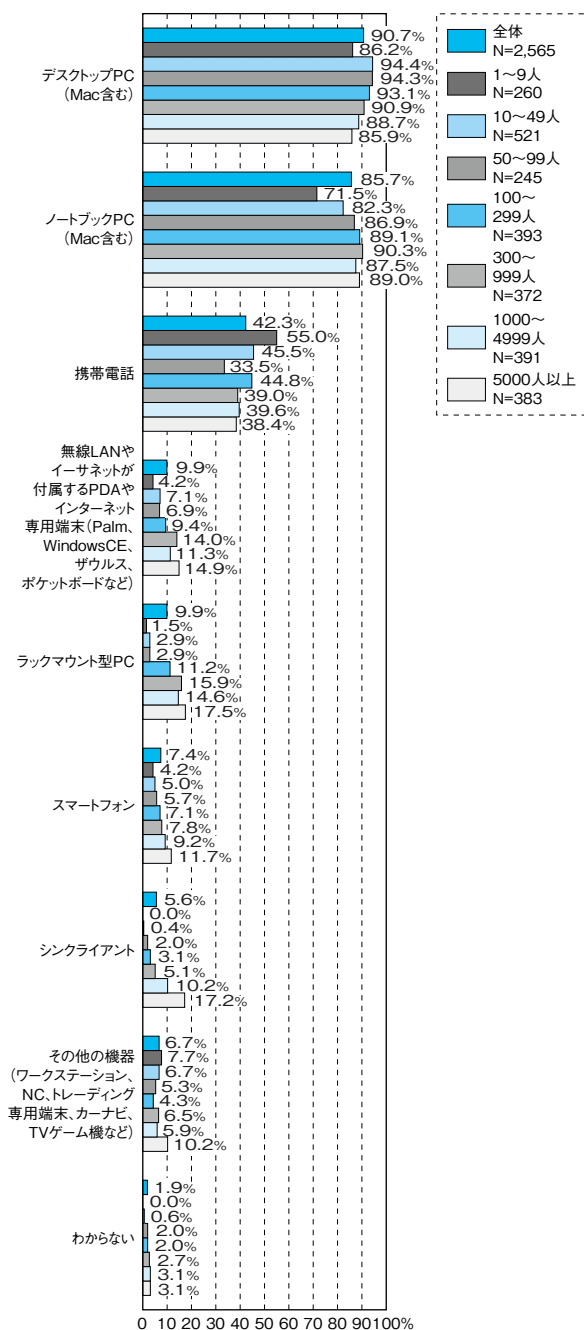
資料8-6-1 インターネット利用可能な機器（複数回答）
[2008年-2009年]



※「携帯電話」「スマートフォン」「シンククライアント」は、2009年より追加した項目。

©impress R&D, 2009

資料8-6-2 インターネット利用可能な機器（複数回答）
[従業員規模別]

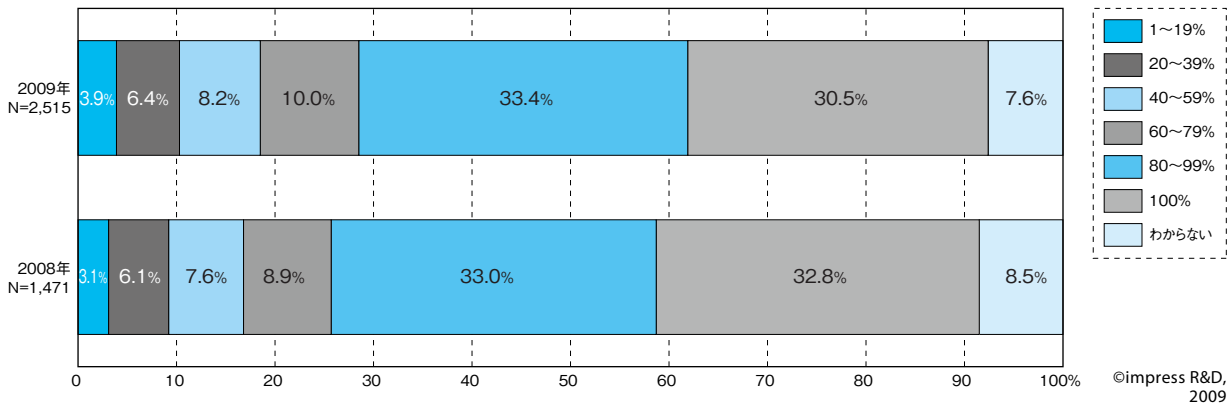


©impress R&D, 2009

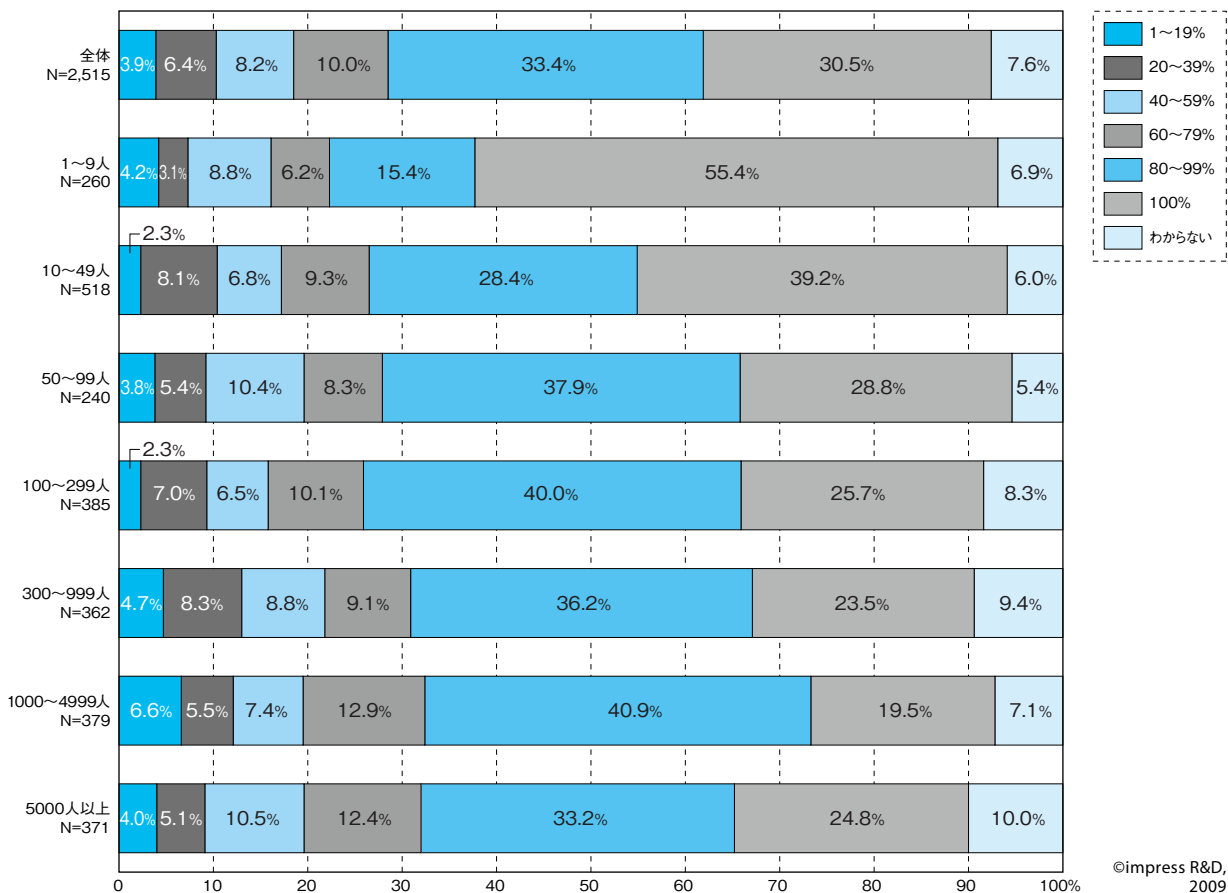
インターネット利用可能なハードウェア比率は80%以上が6割

企業内の機器のうち、インターネット利用可能なハードウェアの比率は、「80～99%」が33.4%で最も高く、「100%」が30.5%で続く。昨年の調査と比較すると、インターネットが利用できない比率がやや上昇している。従業員規模別にみた場合、「100%」の比率は規模が小さい企業ほど高い傾向があり、1～9人の企業では55.4%を占めている。

資料 8-6-3 インターネット利用可能なハードウェア比率[2008年-2009年]



資料 8-6-4 インターネット利用可能なハードウェア比率[従業員規模別]





[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp